



2015. 10. 23

百軒樋付近の流れ、これは断流状態といえるだろう。



2015. 10. 23

堰下流側の湧水が僅かに流れるだけ。



2015. 10. 23

甲武橋水位 0.6m で HQ 換算不能



2015. 10. 23

水面は百軒樋取水堰以下になっていた。



2015. 5. 5

5 堰下流浚渫直後。矢印の箇所にブロックが置かれた。



2015. 10. 23

ブロックが平坦な流れを変え中部に水脈筋を作った。

伊丹の知人から、天神川でアユがいる。武庫川は長靴で渡れるくらい水が減り、川の中を歩いて仁川潜水橋までアユを見に来た。橋の下付近から少し上流側に数匹いた。ソバが実をつけ始めたお知らせしてくれた。アユとソバの花を確認に行ったら、天神川で泳ぐアユを観察、水量が減った川で水溜まりに閉じ込められたような感じで気の毒になる。武庫川に出たら、百軒樋堰上流は百軒樋取水口より低く取水出来ない状態。堰下流直下の僅かな湧水が流れるのみ。5月に浚渫を終え平らになった5堰下流側の砂州の形状が変わり中央部を蛇行して水脈筋が出来ていた。矢印のところに置かれたブロックの効果だろうか。そうだとしたら、チョットした小技でも生きものの生息環境を変えることが出来る事を証明するもので、ブロック置いた行政を褒めてあげたい。